

## 充実し安全な夏休みを

校長 菊地 裕幸



つい最近までは、日中の気温は高いものの朝晩は冷え、寒がりな(暑がりでもある)私は、ストーブを焚こうか焚くまいか(方言?)、非常に迷っていたところが懐かしくもなりつつある今日

この頃です。

新年度がスタートしてから約4か月が経過し、季節は夏となり、夏季休業を迎えます。この間、5月には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられ、多くの学校行事を、かつての様なスタイルに徐々に戻しながら実施することができました。

3年生の見学旅行と1年生の宿泊研修では、子供たちはそれぞれの研修地において体験的活動や様々な文化や人との触れ合い、宿泊所での過ごし方等を通し、集団生活においての自身の役割や責任を自覚し、仲間と協力しながらそれらを果たすよう努力した結果、他者を思いやる気持ちや困難なことにも立ち向かい解決していく力を身に付けることができました。このことは、実際の社会や生活で生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力など」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」の3つの力をバランスよく育むことを目指すこととする、新しい学習指導要領の着実な実施には欠かせない取組となりました。5月の高大連携事業、6月の森林探訪や新入寮生歓迎会、7月の「木の手づくり展」の参加や村の幼小中の学校間連携事業、大いに盛り上がりを見せた学校祭においても、子供たちを大きく成長させるために必要な機会をいただくことができました。関係いただきました皆様方に、この場を

借りて感謝申し上げます。

さて、夏季休業を迎えるに当たり、保護者及び生徒の皆様にお礼があります。新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後においては、学校教育活動の継続を前提とした上で感染拡大を防止していくため、感染状況に応じた感染症対策を講じていくことが重要とされております。つきましては、各家庭において日々の健康状況の把握や換気の確保、手洗い等の手指衛生の指導、咳エチケットの指導、混雑した電車やバスを利用する場合や医療機関や高齢者施設等を訪問する場合など、社会一般においてマスクの着用が推奨される場面でのマスク着用の推奨等について、御理解と御協力をあらためてお願いいたします。

また、川や海での水の事故、(被害者にも加害者にもなり得る)交通事故、脱水や急に暑くなったために起こる熱中症等、様々なことに十分配慮いただき、楽しく安全で充実した夏休みとなることを期待しています。

それでは生徒の皆さん!心身ともにリフレッシュし、夏休み明けの8月15日(火)に110人生徒全員、ひと回りたくましく成長した姿で会えることを楽しみにしています!

## 「駆け抜けた3ヵ月」

1学年担任 佐野 秀斗

入学して約3ヵ月が過ぎ、学校や寮生活に慣れ、少しずつ「自立」しています。GW明けには2泊3日の宿泊研修へ

行き、様々な体験や友人との関わりを経て、クラスとして思い出に残る研修となりました。7



月は学校祭の準備に追われる毎日でした。初めての学校祭活動に戸惑いながらも、先輩方に相談したり、各担当で作業を分担し、それぞれがしっかりと役割を担っていました。間に合うかどうか焦りもありましたが、全員で協力して無事に終わることができて良かったです。次年度に繋がる経験と達成感を味わえたと思います。次年度はよりよい発表ができるよう頑張ってくださいと思います。

さて、これから夏休みです。本校は他校と違い、夏休み中に部活動がありません。その分、自分でアクションを起こさなければなりません。家でゴロゴロしている時間の1時間をデスクに充てるなど、自分で自分をコントロールすること、「自律」が大切です。夏休み中に「自律」を身につけた人はこのあとの高校生活がガラッと変わるでしょう。夏休み明けは高文連が行われます。できることは少しずつでも良いので取り組んでもらいたいです。みなさんに期待しています。初めての夏休みを満喫してください!

## 「飛躍の2年生」

2学年担任 久保 亜紀子

2学年が4月10日から始めて約100日、2年生のおよそ3分の1が終了しました。前半のメインイベントである学校祭は



昨年反省を生かした場面が各所で見られました。理想を求め衝突する場面やすれ違う事もありましたが最期には素晴らしい舞台を築くことができました。期間中それぞれに与えられた仕事に取り組む姿や各担当の連携にクラスとしての成長が感じられました。

9月にはデザインスクールがあります。色々なデザインに触れ、共に多くの事を学んできたと思います。そのほかの行事もまだまだ続き、多くの方が忙しい時間を過ごす事となります。1年生の時と違い、2年生は学校行事を支える

役割を担う学年です。多くの場面で必要とされることとなります。その時には学校祭の経験を活かし、自信を持って個々が実力を発揮してほしいと思っております。夏休みにはここまでの振り返りと後期に向けた計画、そしてこの時期にしかできない経験をして帰ってきて欲しいと思います。

## 「最高学年として」

3学年担任 河野 行宏

3年生となるのはやくも3ヶ月が立ちました。最高学年として部活、生徒会や寮生活などで後輩を引っ張る場面も多く見られ、頼もしい限りです。4月24日からは見学旅行として広島と京都へ無事に行くことができました。原爆資料館、お好み焼き、清水寺、山中油店などを周り、最高の思い出を作ることができました。見学旅行後は前期中間考査や進路活動などで慌ただしい日々を迎えました。学校祭では最高学年にふさわしい演劇を作ってくれました。3年間の経験と技術がつめこまれた集大成となり、カッコいい姿を後輩たちに見せることができました。



今から進路の活動が本格化します。就職希望者は面接や志望動機の準備、進学希望者は書類作りや受験勉強などたくさんの活動をしなければなりません。しっかり計画を立てて、夏休みの時間を大切に過ごしてほしいと思います。3年生が学校に登校するのもあと6ヶ月程度となりました。卒業まであっという間です。寂しい気持ちがありますが、1日1日を大事に過ごしましょう。



## ●おと高 Story

### 《木の手づくり展》

本校生徒の木工作品等を展示する「木の手づくり展」旭川展が7月1日(土)～2日(日)まで

旭川市民文化会館にて開催しました。

授業で作った作品や、課題研究の授業の中で取り組んだ卒業制作など約200点を展示しました。また、1日目には本校生がアシスタントとした木工ワークショップを開いたり、中学生向けの進路相談コーナーを設置したりして、本校の教育活動について紹介しました。会場には180名を超える来場者が訪れ、興味深く作品に見入っていました。会場の設営に御協力をいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

なお、札幌展は8月4日(金)～6日(日)までかでの2・7で行います。機会がありましたら、ぜひお立ち寄りください。



### 《学校祭》

7月15日(土)、16日(日)に『一祭合祭(いっさいがっさい)おと高祭!』をスローガンとして学校祭が開催されました。

今年度は、2日目に一般開放を行うなど、コロナ禍以前に近い形で実施しました。保護者様や地域の方々だけでなく、道内観光中のライダーの方にも参観いただき、本校生の学びが運だ芸術をご堪能いただきました。

とくに1日目の「舞台発表」では、おと高生の美的センスを活かした舞台装飾が目をつけたのは勿論、キャストの生徒さんの演技力の高さにも驚かされました。

初日から最後の後夜祭に至るまでさまざまな趣向を凝らした企画は、生徒会役員をはじめ、各担当者のアイデア力と努力の賜(たまもの)でした。生徒の皆さん一人ひとりに労いの言葉をかけたい、そんな「おと高祭」でした。

